

九州運輸局メールマガジン 平成 21 年 10 月 16 日 第 53 号 (発行日: 毎週金曜日)
~九州の明日を拓く運輸と観光~
九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンのご利用ありがとうございます。

目次

1. 九州運輸局ホームページアップ情報 (10月9日~10月15日掲載分)
プレス発表
入札・契約情報
行政処分状況
自動車の保安
バス・タクシー・トラック
九州グリーン物流パートナーシップ協議会
2. 現場レポート
「鉄道安全対策イベント:安全・安心キャンペーン」博多・天神地区で実施!!
「百年レイル観光フェスタ」を開催しました!
3. 九州運輸局セミナー
地域公共交通の活性化・再生について
4. リレーコラム
5. 編集長だより

【九州運輸局ホームページアップ情報】(10月9日~10月15日掲載分)

プレス発表

《観光》

- ・中国のインターネット旅行会社招請を実施します!(10月15日発表)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091015.pdf>

《物流》

- ・北東アジア物流資材(パレット(T11型))の標準化に向けた調査の実施について
~第1回委員会を開催~(10月14日発表)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091014.pdf>

入札・契約情報

- ・九州運輸局発注工事等からの指名をしないことについて

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/sanka_shikaku/hacchuukouji.pdf

- ・物品・役務入札公示(10月14日、10月15日)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

行政処分状況

- ・累積違反点数が20点を超える事業者の状況(平成21年9月30日現在)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/body.htm>

自動車の保安

- ・整備管理者実務経験証明書の例

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/car/file04/seibi062.pdf>

バス・タクシー・トラック

・申請公示、処分状況

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/list.html>

九州グリーン物流パートナーシップ協議会

・委員名簿（修正）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyuu_green/gaiyou/gaiyou.html#meibo

・第6回九州グリーン物流パートナーシップ協議会（10月9日開催分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyuu_green/katudou/katudou_03_01.html#kaigi6

・第6回広報企画部会（9月3日開催分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyuu_green/katudou/katudou_03_02.html#kouho6

【現場レポート】

「鉄道安全対策イベント：安全・安心キャンペーン」博多・天神地区で実施！！

「鉄道の日」九州実行委員会（九州運輸局と九州管内の鉄・軌道会社で構成）では、10月を九州レイルマンスと銘打って、「便利で、安全で、楽しい」九州の鉄道を幅広くアピールすることを目的に各地で様々なイベントを実施しています。

このイベントの一環として、福岡県鉄道連絡協議会（福岡県警察本部鉄道警察隊と福岡県内の鉄・軌道会社で構成）と共催で、去る10月9日に、博多駅・西鉄福岡（天神）駅・福岡市地下鉄天神駅において鉄道の安全・安心キャンペーンを実施致しました。

当日は、博多駅（博多口）にて、ミス福岡の田中 由莉香さんを一日駅長、曾我部 真季さんを一日鉄道警察隊長としてそれぞれ任命し、華やかなオープニングセレモニーとなりました。

また、各鉄道会社のマスコット（カエルくん、ちかまる、メコロ、フェレット）、福岡県警のマスコット（ふっけいくん）も参加し、賑やかな中、一日鉄道警察隊長の「パトロール隊出発！」の号令のもと、博多駅及び天神にてノベルティグッズの配布をしながらキャンペーンを行いました。天神ではカエル君が脱水状態となるハプニングもありましたが、5,000個用意していたグッズもあっという間になくなり、大盛況のうち無事終了となりました。

鉄道の「安全面」では置き石、踏切内への無理な進入による列車事故、「安心面」では列車車内での痴漢、迷惑行為等々事件事故が絶えませんが、これらを撲滅するために、鉄・軌道事業者並びに関係機関が連携協力しながら、今後も啓発活動を引き続き行っていきますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

（鉄道部計画課）

「百年レイル観光フェスタ」を開催しました！

10月11日、熊本県の人吉・球磨地区において、鉄道&九州遺産観光イベント「百年レイル観光フェスタ」を開催しました。今年は、肥薩線全線開業100周年・くま川鉄道開業20周年という節目の年であり、人吉・球磨の鉄道遺産の魅力を伝えるイベントになりました。

・「くま鉄トレインピクニック」

くま川鉄道の特別列車「KUMA1・2」を「カフェ列車」として使用し、車内で

飲み物やお菓子、そして美しい沿線の風景を楽しみつつ、くま川鉄道全線を乗車しました。車内ではクイズ大会やじゃんけん大会が行われ、参加者に鉄道に関する賞品をプレゼント。さらに、あさぎり駅ではくま川鉄道の方からお餅の差し入れがあるなど、参加者の方に大いに楽しんでいただきました。

・「トークショー 鉄道観光新時代」

続いて、九州遺産観光セミナーとして、昭和初期の穀物倉庫を再生利用した多良木町交流館石倉にてトークショーを行いました。

鉄道愛好家の福井弘氏からは、湯前線の歴史を貴重な写真の数々とともに語っていただきました。個人でSLを購入された鉄道愛好家の小澤年満氏からは貴重な体験談を、NPO代表理事の東川隆太郎氏からは肥薩線の一般には知られていないエピソードをお話いただきました。

「KUMA 1・2」やJR九州の「SL人吉」、「海幸山幸」等のデザイナーとして知られる水戸岡鋭治氏には、これまでにデザインされた様々な車両についての逸話を語っていただきました。さらに、「風呂でも寿司屋でも、利用者が望むものは何でもできる。世界一の車両を作りたい。」と述べられ、熱い思いがヒシヒシと伝わりました。

最後は人吉市の田中市長から、セミナーのご感想とくま川鉄道を支援していく言葉を頂きました。当日は天候にも恵まれ、70名を越える参加者で会場は埋まり、セミナーは盛況に終わりました。

九州運輸局では、10月14日「鉄道の日」を記念し、10月を「九州レイルマンズ」として、管内の鉄道・軌道事業者と協力しながら、鉄道に関する様々なイベントに取り組んでいます。

また、観光についても、地域の近現代遺産に着目し、観光資源としての活用を促す「九州遺産」プロジェクトを行っており、九州各地でセミナーを開催しています。

「九州レイルマンズ」ではほかにも鉄道のイベントが目白押しですので、皆様も振るってご参加ください。

各社イベント情報はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090929_2.pdf

(鉄道部計画課・企画観光部観光地域振興課)

【九州運輸局セミナー】

地域公共交通の活性化・再生について

皆様は、公共交通を日頃どのくらい利用されているでしょうか？

公共交通は、

- ・高齢者をはじめとする車の運転が出来ない方々や来訪した観光客などの移動手段の確保
- ・環境問題への対応(1人が1km移動する際に排出されるCO₂は、自家用乗用車と比べバスは3/10、鉄道は1/10です。)
- ・活力あるまちづくりの推進など、様々な重要な役割を担っています。

しかしながら、バスや乗合タクシー、鉄道や船舶の利用者は年々減少し、運行の持続性が危ぶまれるような路線・系統・航路もあるのが現状です。

このような中、地域特性や実現性、住民ニーズをバランスよく考慮し、「地域に合った公共交通、持続可能な公共交通」その地域にとって最適な、いわばオーダーメイドの公共交通を考えることが重要です。

九州運輸局では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」や「地域公共交通活性化・再生総合事業」などにより、地域公共交通のあらゆる課題について、市町村を中心に地域の多様な主体による検討、合意形成、地域の関係者で決めたことを責任をもって推進することを総合的・一体的に支援しています。（各制度の概要は、以下のホームページをご覧ください。）

地域で検討するにはノウハウや人材育成が不可欠であることから「なるほど！！公共交通の勘どころ」を作成し、先駆者の知恵や法制度・補助制度の活用のしかた並びに先進事例やちょっとした工夫をご紹介するとともに「地域公共交通活性化・再生シンポジウムin九州」を開催し、九州島内外の成功事例の紹介や学識経験者をお招きして持続可能な地域公共交通の実現に向けてディスカッション等を行いました。また今後は各運輸支局単位でセミナーを開催するなど様々な取り組みを行っています。

公共交通についてお困り、お悩みの事があれば、ぜひお気軽に運輸局企画観光部交通企画課、各運輸支局企画調整担当までお問合せ下さい。

皆様もぜひ公共交通の積極的利用をお願い致します。

【公共交通活性化に関するページ】（地域公共交通活性化・再生法や総合事業に関する資料の他、取り組み事例の紹介も数多く掲載しています。）

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/index.html>

【なるほど！！公共交通の勘どころ】（概要版も掲載しています。）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file05a.htm>

【地域公共交通活性化・再生シンポジウムin九州の結果】（当日の概要・配布資料を掲載しています。）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file08.htm>

（企画観光部交通企画課）

【リレーコラム】

先日の三連休の初日、秋晴れに誘われ、たまには女房サービスでもと昼前に急に思い立ち、15年ほど前に子供たちと柿狩り（富有柿）に行った朝倉市へ妻と出かけることにした。

まだ柿狩りには早いと思い、行ったことがなかった朝倉の三連水車へ向け自宅を出発。三連水車の見学は後にして、まずは昼食をとろうとナビ任せで近くにある産直の店「三連水車の里あさくら」に到着。パンフレットでは三連水車は少し離れているように思えたのだが、意外にもそこで「立派な三連水車」が迎えてくれた。その水車を眺めながらレストランで、地元の野菜や果物満載の食事（バイキング）でお腹を満たした後、ゆっくりと水車を見学し、その構造等の説明に納得したところだった。

何か土産に果物か野菜でもと思い店内を見渡すと、値段は他の柿より高めだが、青くてキズとも思える紋がある「太秋柿（たいしゅうがき）」という珍しい柿を発見。地元の人に聞くと、太秋柿は青い状態のほうが、よりシャキシャキ感があっておいしく、2年に一度しか実のならない貴重な柿とのこと。他には、昔よく近くの山で採って食べた「アケビ」や形は富有柿だがゴマの入った「西村柿」など珍しいものもあった。しかし、この見た目の悪い「太秋柿」が気に入り購入した。

その後、甘木のキリンピール工場のコスモス園に立ち寄り、まだ3分咲きのコスモスに、初秋を感じつつ帰路についた。

帰宅後早速、「太秋柿」を食したところ、梨のようにジューシーで、甘くシャキシャキしておりとても美味しく、本当に新食感の柿だった。

もう少し買って帰れば良かったと後悔したが、大満足。皆さんにも是非お勧めしたい。

ただ、帰宅途中、今日見た「立派な三連水車？」は、なぜか由緒が書かれていなかったことに、かすかな疑問を感じていたので、インターネットで検索したところ、それは、1年中活動する「三連水車の実物大モニュメント」であると知りがっかり、疲れがどっと出た。やはり、下調べはしっかりしておくべきだと反省。

今度は、本物の朝倉の三連水車「菱野三連水車」を訪ねたい。

(九州運輸局総務部長 宮村雄二)

菱野三連水車は「田んぼのSL」の異名をもち、三島二連水車、久重二連水車と共に朝倉の代表的な風物詩。これらの水車は、筑後川流域の200年前の水飢饉に対応した先人の英知の結晶で、現在も稼働しているのは、日本ではここだけ。

【編集長だより】

今週もメールマガジンをご愛読いただきまして、ありがとうございます。10月も中旬に入り秋もいよいよ本番を迎える頃となりました。秋を代表する花コスモスも各地で見頃を迎えています。日本には古来(万葉の時代)より「秋の七草」と呼ばれる花があることはご存知ですか。春の七草は正月に七草粥として食べる風習があるのでよく知られていますが、「秋の七草」は意外と知られていないのではないのでしょうか。萩の花、尾花(ススキ)、葛花、撫子(ナデシコ)、女郎花(オミナエシ)、藤袴、桔梗の七つです。天気のいい休みの日にでも近所の野山にでかけてみませんか。「秋の七草」に出会うことができるかもしれません。

秋も深まるとともに九州でも新型インフルエンザの流行期に入ったと思われま。福岡県では10月9日インフルエンザ流行発生注意報が発令されました。九州運輸局でも職員に対して発熱やインフルエンザの症状がある場合には、早期に医療機関等を受診すること、また、同居する家族が新型インフルエンザに感染した場合には、自身が感染することのないよう注意をうながす文書を出しました。インフルエンザの感染予防には手洗いとうがいを徹底することが肝要とのことです。

皆様からのご意見・ご要望等を募集しています。下記のメール又はファックスからお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集長(九州運輸局総務部広報対策官)

森 益隆(もり ますたか)

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

バックナンバーは、次のURLに掲載しています。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html